



発行所
やれぼう事務局
矢掛町矢掛 2242
原田勇造 宅
電話 0866
83-3295
平成 26 年 10 月
第 100 号

第十一回 弥生の彩と味

農業と観光と

地域振興と

九月二十日(土)から翌日の二十一日(日)にかけての二日間、毎年恒例の「弥生の彩と味」を開催しました。会場は井原鉄道矢掛駅北側の水田と内神荒神社境内。共に午前十時から午後四時まで。今年は天候不順が影響して古代稲の出穂が不ぞろいとなり水田アートのやかっぱーが見えにくかったのですがそれでも多くの参観者で賑わいました。



特に二日目の午後一時

から今年初めて子ども神楽を「八重穂子供神楽」

クラブ上演により観光客を大いに楽しませました。そして水田では二十種類を超す古代稲がそれぞれ種の特徴を発揮して見物客の注目をひきました。

中には草丈四十センチほどの稲もあり、これでも稲?と珍しがられていました。また、稲穂の色も濃い赤色、ピンクかった赤色、白色、黒色、紫に近い黒色、黄色など多様でまさしく古代弥生の水で風景となっていました。この行事を開催するに当たり広報をお願いした笠岡放送、井原放送、エフエムゆめウエーブ、矢掛放送の各社に大変お世話になりました。有難

うございました。

幟旗寄贈

八重穂子供神楽クラブへ



伝統的民俗芸能「備中

神楽」を受け継いでゆこうとする「八重穂子供神楽クラブ」へ左写真の幟旗を「やれぼう伝承の会」から激励の意味から寄贈しました。

得得市目玉

やかっぱーのかき氷



九月の得得市では、小学生の考えた案を矢掛高等学校生徒が商品化した「ヤカっぱーのかき氷」が大変な人気でした。五十食限定でしたが、販売には購入のための行列ができ、氷の補充に走るほ

どでした。

日本の祝日⑩

体育の日

昭和三十九年十月十日に東京オリンピック開会式が行われたことを記念して定められました。

東京オリンピックは、

戦後の日本の復興を象徴する国をあげての一大行事でした。また、この日選ばれたのは、観測史上、晴れる可能性が高い日だったためです。近年、子どもたちの体力低下がもんだいとなっています。スポーツなどで体を動かして、健康な心身を養いましょう。

荒神様いろいろ

荒神さまは大きく次の三分があります。

① 三宝荒神

火の神、火伏の神

② 地荒神

屋外に祀られた屋敷神、同族神、集落神、西日本に顕著、産土(うぶすな)荒神とも

いう(内神の荒神はこれ)。生活全般の守護神。

③ 牛馬の守護神としての荒神

中国山地を中心に分布します。

やれぼう文芸

俳句会

曼珠沙華

よりそいて咲く田んぼ道

三輪 恵子

月天心

肝胆照らす友とをる

森 靖子

メキシコ紀行より

森 靖子

雲海の

上に日の出の太平洋

冷房は

無用でありしメキシコ市

冷まじや

髑髏埋め込むマヤ遺跡

促され

サボテンの実を試食せり

色鳥も

孔雀も共にパン拾ふ

アステカの

遺跡に生ふる大サボテン